

PRESS RELEASE (2025/03/21)

学部から大学院まで通貫する新コース「次世代博士人材育成コース」の設置及び 総合型選抜「次世代研究者発掘入試」の導入について (2027年度)

九州大学では、学生の入学前から博士課程修了までを一貫する学びの過程と捉え、高大接続及び学士・修士・博士課程教育の一体的な改革を推進しているところです。その取り組みの一環として、意欲と能力にあふれる学生に対して、学部入学後の早い段階から安心して研究に打ち込める環境と、より一層研究意欲を高めるための機会を提供するため、学士から博士課程まで通貫する新コース「次世代博士人材育成コース」を2027年4月に設置します。このコースでは、①希望する研究室への早期配属・研究インターシップ、②先取り履修や単位読替、早期卒業などの柔軟なカリキュラム、③年間50万円の給付型奨学金、④メンターによるサポート制度、⑤主幹教授等によるセミナーや成果発表会の開催、⑥所属・学年を超えた若手研究者スクエアでの交流といった取組を実施し、コース生を我が国の科学技術イノベーションの創出を担う博士人材へと育成してまいります。

また、「次世代博士人材育成コース」に直結する総合型選抜として、「次世代研究者発掘入試」を2027年度入学者選抜(2026年度実施)から開始します。この入試は、高校生段階での研究体験等を通じて得られた研究力や課題解決能力、特定の研究分野へのモチベーションを評価する、高大接続を重視した新たな選抜制度です。開始初年度は、工学部(一部の学科)及び農学部で導入予定です。

詳細は九州大学未来人材育成機構のHPよりご確認ください。

<https://mirai.kyushu-u.ac.jp/>

